

2023年3月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社サニックス
2022年11月16日

目次

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1. 2023年3月期 第2四半期 決算概況 | P.4 |
| 2. 2023年3月期 通期業績見通し | P.25 |
| 3. トピックス | P.37 |
| 4. 補足資料（2023年3月期
第2四半期 セグメント別実績） | P.40 |
| 5. 補足資料（事業構造） | P.52 |

【免責事項】

- ・ 本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。
- ・ 新型コロナウイルス感染状況及び政府・自治体の対応、日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の動向、廃棄物（特に廃プラスチック類）の取扱いに関わる動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。
- ・ 本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

<注意事項>

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「－」で表示しております。

2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。変更により、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。なお、戸建住宅向け太陽光発電システム事業の「(新)SE部門」は、実務上前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。そのため、PV部門は、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

2023年3月期 第2四半期 決算概況

■ 2022年6月1日付の組織改編に基づき、セグメント区分を変更

組替前

S E 事業部門
H S 事業部門
E S 事業部門
環境資源開発事業部門
エネルギー事業部門



組替後

住環境領域	H S 事業部門・・・戸建住宅向けサービス事業
	E S 事業部門・・・法人・事業主向けサービス事業
	S E 事業部門・・・戸建住宅向け太陽光発電システム事業
エネルギー領域	P V 事業部門・・・法人向け太陽光発電システム事業
	新電力事業部門・・・電力小売事業
資源循環領域	環境資源開発事業部門・・・廃棄物リサイクル事業

- 売上高 22,649百万円 (対前年同期▲495百万円 対計画▲1,630百万円)
- 営業利益 746百万円 (対前年同期+156百万円 対計画 ▲33百万円)

2023年3月期 第2四半期連結業績のポイント

	対前年同期	対計画
住環境領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症第7波の影響により対面での営業活動に制約が発生 ・ SE部門の新規立ち上げによる増収 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症第7波の影響により対面での営業活動に制約が発生
エネルギー領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ PV部門において、組織改編にともなう固定費の減少により増益 ・ 新電力部門において、事業構造の見直しにより調達リスクが低減されるとともに、採算性の向上(黒字化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PV部門において、各電力会社からの太陽光発電システムの系統連系※にかかる回答期間の長期化 ※電力会社の電力系統に発電設備を接続すること ・ 新電力部門において、エネルギー価格高騰にともなう販売単価の上昇
資源循環領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電所の点検にかかる修繕費の減少 ・ 設備投資等にかかる償却費負担の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堅調に推移

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。変更により、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。なお、戸建住宅向け太陽光発電システム事業の「(新)SE部門」は、実務上前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。そのため、PV部門は、前年同期の「(旧)PV部門」の数値と比較しております。

2023年3月期 第2四半期 連結決算概況

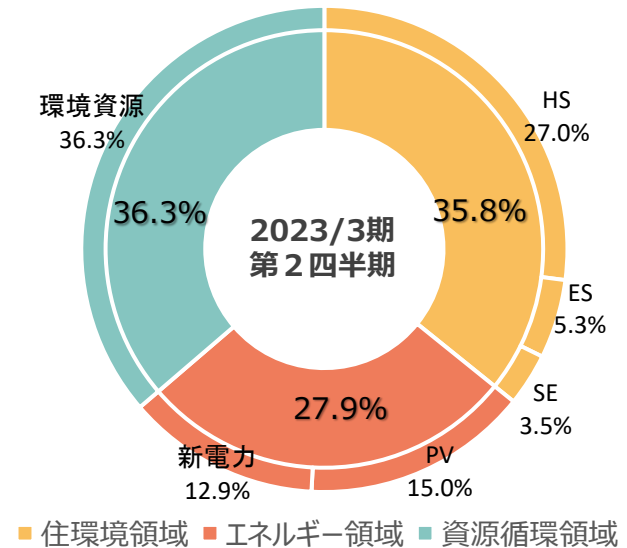
(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	2Q実績	2Q計画	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	23,145	22,649	24,279	△ 495	97.9%	△ 1,630	93.3%
売上原価	15,005	14,581	15,875	△ 424	97.2%	△ 1,294	91.8%
売上総利益 (売上高売上総利益率)	8,139 35.2%	8,068 35.6%	8,404 34.6%	△ 71	99.1%	△ 336	96.0%
販売費・一般管理費	7,550	7,322	7,625	△ 228	97.0%	△ 303	96.0%
営業利益 (売上高営業利益率)	589 2.5%	746 3.3%	779 3.2%	+ 156	126.6%	△ 33	95.8%
経常利益 (売上高経常利益率)	490 2.1%	611 2.7%	666 2.7%	+ 120	124.6%	△ 55	91.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	132 0.6%	442 2.0%	562 2.3%	+ 310	335.0%	△ 119	78.7%

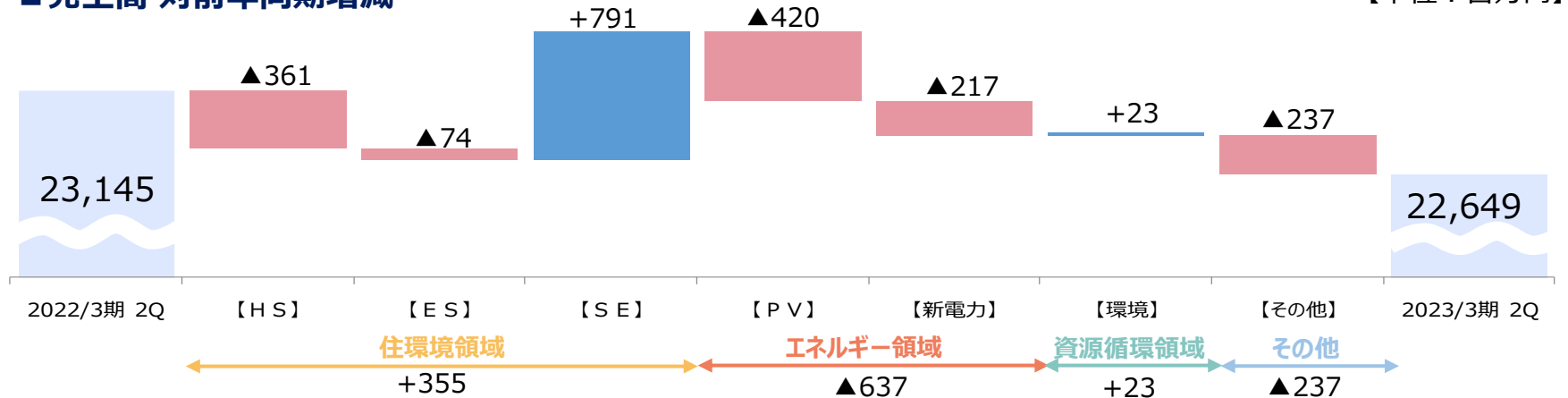
(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
住環境領域	8,108	+ 355	104.6%	△ 1,307	86.1%
エネルギー領域	6,322	△ 637	90.8%	△ 341	94.9%
資源循環領域	8,218	+ 23	100.3%	+ 19	100.2%
その他/セグメント間の 内部売上高調整額	—	△ 237	—	—	—
合計	22,649	△ 495	97.9%	△ 1,630	93.3%

■ 売上高構成比



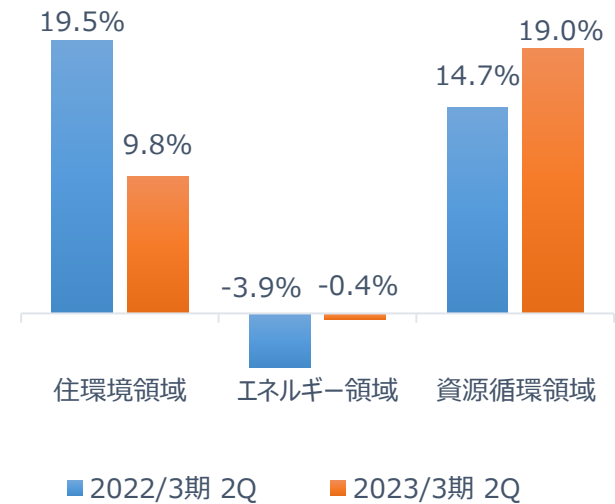
■ 売上高 対前年同期増減



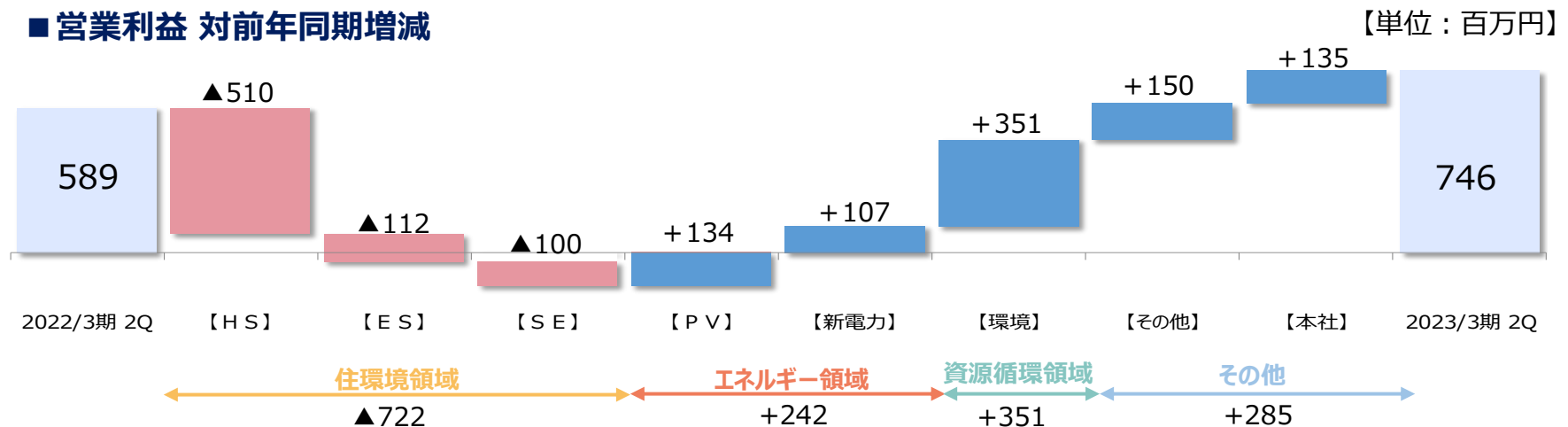
(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
住環境領域	792	△ 722	52.3%	△ 540	59.4%
エネルギー領域	△ 25	+ 242	—	+ 228	—
資源循環領域	1,558	+ 351	129.1%	+ 195	114.3%
その他	—	+ 150	—	—	—
配賦不能	△ 1,579	+ 135	—	+ 84	—
合計	746	+ 156	126.6%	△ 33	95.8%

■ 営業利益率



■ 営業利益 対前年同期増減



■ 住環境領域

戸建住宅、集合住宅、その他建築物に対する適切なメンテナンスを実施することで、安心・安全・快適な暮らしを提供。また、建物の長寿命化により資源の効率的利用に貢献。

HS部門：ホーム・サニテーション事業

戸建住宅向けの環境衛生にかかるトータルメンテナンスサービス事業を展開

- 白蟻防除システム
- 床下・天井裏換気システム
- 基礎補修工事
- 家屋補強システム
- 住まいのリフォーム など

ES部門： エスタブリッシュメント・サニテーション事業

法人（ビル・マンション等）向けの環境衛生にかかるトータルメンテナンスサービス事業を展開

- ビル・マンションの給排水設備の保全対策
- ビル・マンションの外壁塗装・屋上防水
- 有害生物の防除（ペストコントロール）など

SE部門：ソーラーエンジニアリング事業

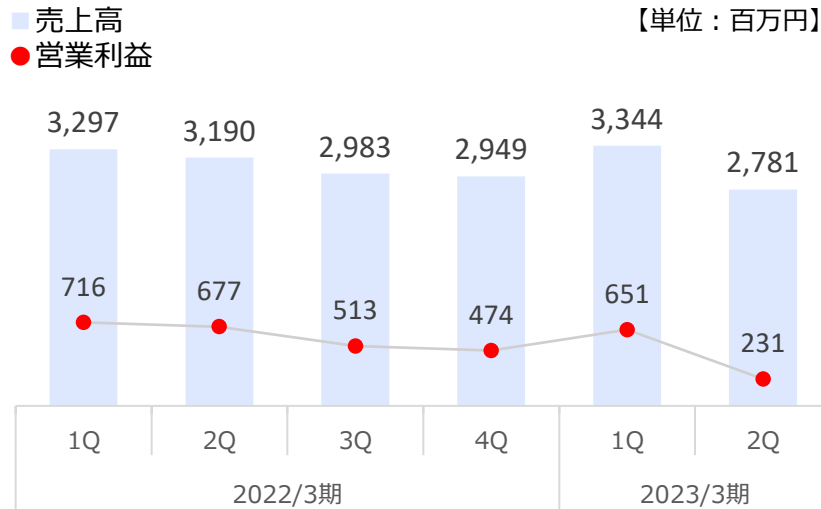
戸建住宅向け太陽光発電システムの製造から販売・施工・メンテナンスまでトータルサービス事業を展開

- 戸建住宅向け太陽光発電システム
- 蓄電池、V2H
- O&M（メンテナンス）など

（単位：百万円）

	2023/3期 2Q実績	前年同期		計画	
		差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	8,108	+ 355	104.6%	△ 1,307	86.1%
H S 部門	6,126	△ 361	94.4%	△ 638	90.6%
E S 部門	1,190	△ 74	94.1%	△ 159	88.2%
S E 部門	791	+ 791	—	△ 509	60.8%
売上総利益	4,604	△ 215	95.5%	△ 705	86.7%
営業利益	792	△ 722	52.3%	△ 540	59.4%

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【HS事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）

■ 売上高 ▲361百万円

- 【+】・人員増加及び提携先開拓強化による営業基盤の拡大
- ・新規営業活動強化による受注(白蟻防除施工)の増加
- 【-】・新型コロナウイルス感染症第7波の影響により対面での営業活動に制約が発生

■ 営業利益 ▲510百万円

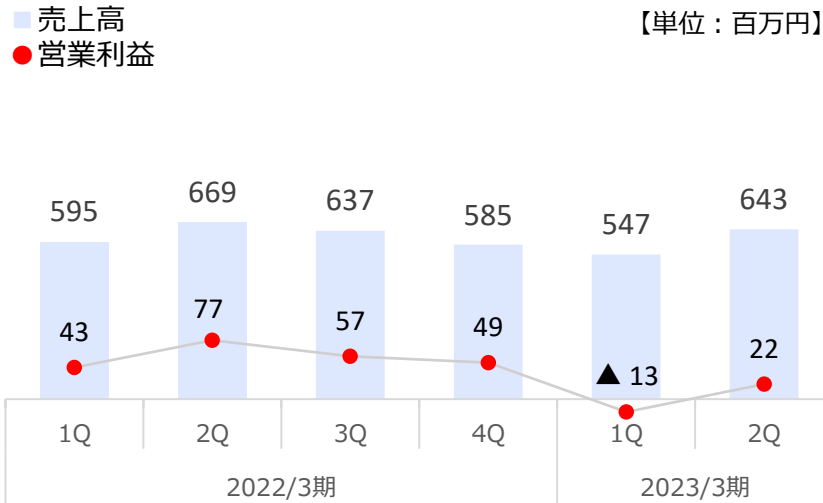
- 【-】・積極的な人員増加による人件費の増加
- ・提携先開拓強化による販売手数料の増加

■ 商品別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	6,126	△ 361	94.4%	△ 638	90.6%
白蟻防除施工	2,099	+ 107	105.4%	+ 55	102.7%
床下・天井裏換気システム	1,514	△ 154	90.8%	△ 201	88.3%
基礎補修・家屋補強工事	858	△ 186	82.1%	△ 216	79.8%
その他	1,653	△ 128	92.8%	△ 275	85.7%
売上総利益	3,753	△ 385	90.7%	△ 430	89.7%
営業利益	883	△ 510	63.4%	△ 379	70.0%

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【ES事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）	
■ 売上高 ▲74百万円	
【+】	・継続的な人員増加による営業基盤の拡大
【-】	・新型コロナウイルス感染症拡大による業務提携先からの受注の減少 ・施工に必要な資機材の長納期化
■ 営業利益 ▲112百万円	
【-】	・外注工事をともなう売上の増加によるコストの増加 ・積極的な人員増加による人件費の増加

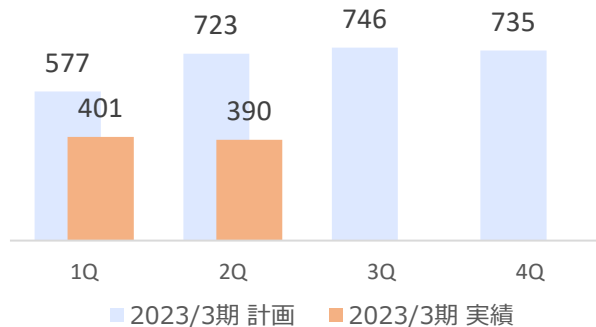
■ 商品別売上高・営業利益

（単位：百万円）

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	1,190	△ 74	94.1%	△ 159	88.2%
防錆機器取付施工	456	△ 191	70.5%	△ 238	65.7%
その他	733	+ 116	119.0%	+ 78	112.0%
売上総利益	593	△ 88	87.0%	△ 130	82.0%
営業利益	8	△ 112	7.3%	△ 101	8.0%

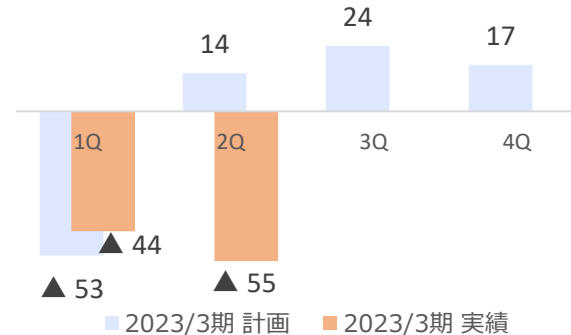
【単位：百万円】

売上高



【単位：百万円】

営業利益



■ 商品別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	791	—	—	△ 509	60.8%
売上総利益	257	—	—	△ 144	64.1%
営業利益	△ 100	—	—	△ 60	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

SE部門については、実務上、前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

■ エネルギー領域

太陽光発電システムの施工販売や電力取引事業を通じて、資源・エネルギーの効率的利用に貢献。

PV部門

法人向け太陽光発電システムの製造から販売・施工・メンテナンスまでトータルサービス事業を展開

- 法人向け太陽光発電システム
(自家消費型、PPA、FIT太陽光など)
- 蓄電池
- O&M (メンテナンス) など

新電力部門

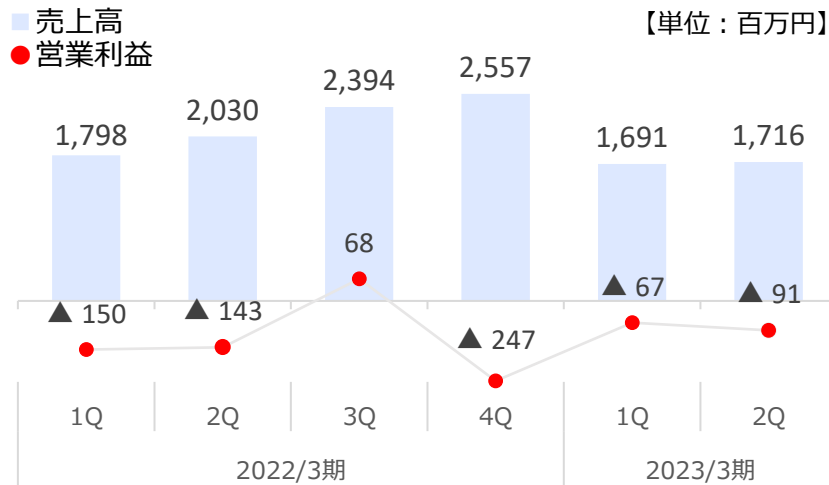
事業所向けから家庭向けまで、9電力会社管内において、電力小売事業を展開

※新規供給契約の受付を停止しております

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	6,322	△ 637	90.8%	△ 341	94.9%
P V 部門	3,408	△ 420	89.0%	△ 435	88.7%
新電力部門	2,914	△ 217	93.1%	+ 93	103.3%
売上総利益	981	△ 217	81.9%	+ 190	124.1%
営業利益	△ 25	+ 242	—	+ 228	—

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【PV事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）	
■ 売上高	▲420百万円
【+】	・法人との業務提携による非FIT発電所施工の開始 ・既設太陽光発電所のメンテナンス売上の増加
【-】	・組織改編にともない、余剰太陽光をSE部門に移行
■ 営業利益	+134百万円
【+】	・組織改編にともなう固定費の減少
【-】	・為替影響等により材料コストの増加

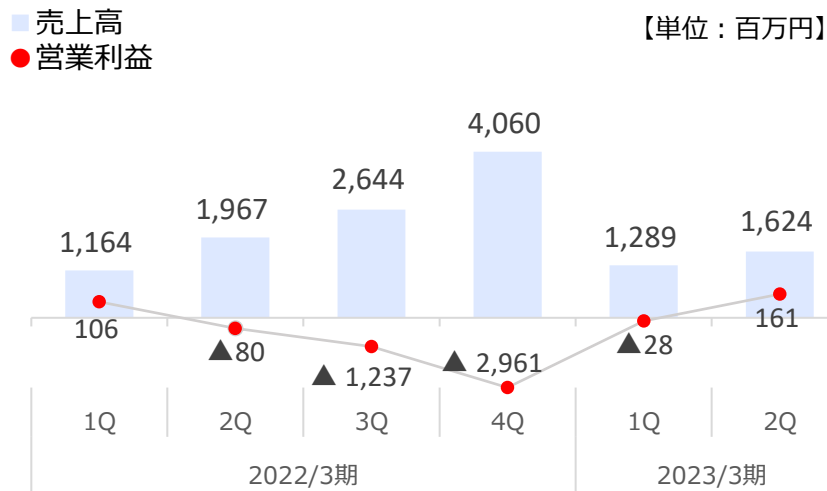
■ 商品別売上高・営業利益

（単位：百万円）

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	3,408	△ 420	89.0%	△ 435	88.7%
施工売上	3,286	△ 466	87.6%	△ 434	88.3%
卸売上	74	+ 39	213.3%	△ 7	91.0%
その他	47	+ 6	117.2%	+ 7	118.0%
売上総利益	745	△ 265	73.7%	△ 19	97.5%
営業利益	△ 159	+ 134	—	△ 5	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。
PV部門については、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【新電力事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）

■ 売上高 ▲217百万円

- 【+】・エネルギー価格高騰にともなう販売単価の上昇
- 【-】・事業構造の転換にともなう販売量の減少

■ 営業利益 +107百万円

- 【+】・市場調達比率の引き下げによる電力調達にかかる価格変動リスクの低減・採算性向上
- ・人員配置転換等による固定費の減少
- 【-】・電力調達単価の上昇

■ 商品別売上高・営業利益

（単位：百万円）

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	2,914	△ 217	93.1%	+ 93	103.3%
売上総利益	235	+ 48	126.0%	+ 209	911.2%
営業利益	133	+ 107	517.3%	+ 233	-

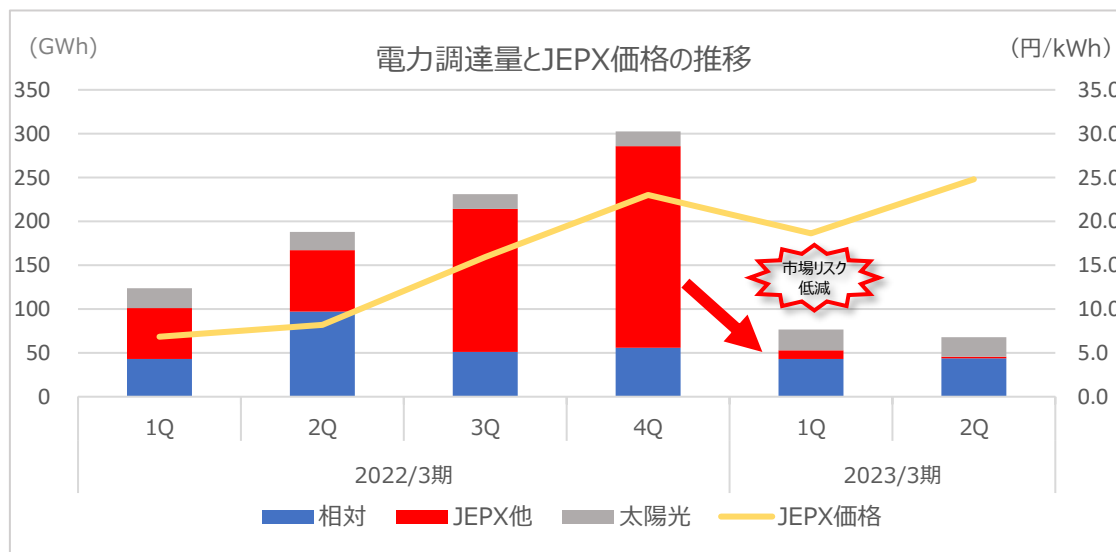
（ご参考）

セグメント間の 内部売上高調整額	-	+ 17	-	-	-
---------------------	---	------	---	---	---

2022年度方針

- 市場リスクを最小限に抑える事業構造へシフト
- 売上拡大による成長志向ではなく、機能面の強化による他事業との相乗効果の創出を目指す

2021年10月から引き続き市場価格が高騰しているものの、ポートフォリオの見直しにより市場調達比率及び電力調達にかかる価格変動リスクを低減できていることから、**市場価格に左右されにくい事業構造へ転換（黒字化）**できている。



■ 当社取組み

- ① 相対調達の規模に合わせて供給量を調整し、市場調達を最小限に抑える
- ② 新規需給契約受付の停止
- ③ 小売契約の一部を取次契約へ移行
- ④ 相対卸供給先の契約満了に伴う供給終了

※取次契約
取次事業者が小売電気事業者と取次契約を締結し、小売電気事業者が調達した電気を需要家へ販売する形態のもの。電力供給の責任は、小売電気事業者が有する。

当社の電力調達に関わる重要な市場データとして、JEPX（スポット市場）価格の期中平均価格単価推移（システムプライス（30分単位の1日48コマ）の期中単純平均）を記載しております。

■ 資源循環領域

産業廃棄物の適正処理、再資源化ならびに、廃液処理による水資源の浄化により、資源の効率的利用、清浄な水資源の確保、安心・安全な暮らしに貢献。

環境資源開発部門

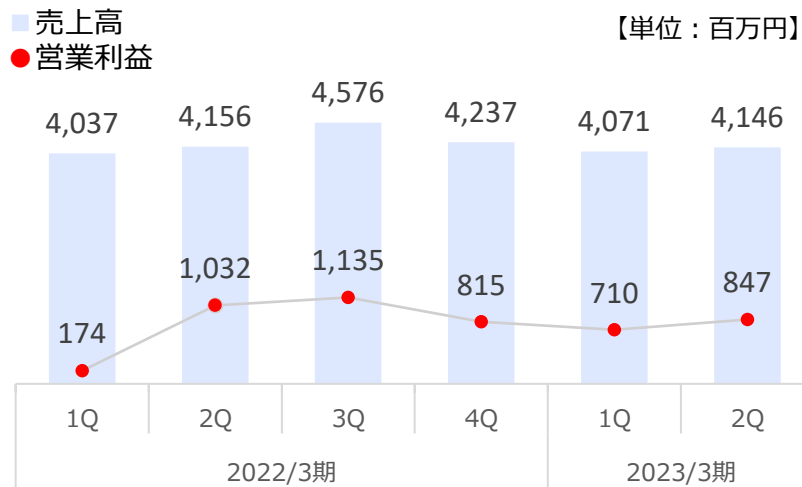
産業廃棄物系プラスチックの燃料化・リサイクル・発電までを行う資源循環型発電事業、廃液を浄化・リサイクル・燃料化を行う資源循環事業などを展開

- 廃プラスチックの燃料化・リサイクル
- 資源循環型発電システム（廃プラスチック再生燃料による発電）
- 廃液の浄化・リサイクル・燃料化
- 埋立処理 など

（単位：百万円）

	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	8,218	+ 23	100.3%	+ 19	100.2%
売上総利益	2,482	+ 389	118.6%	+ 178	107.7%
営業利益	1,558	+ 351	129.1%	+ 195	114.3%

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）	
■ 売上高	+23百万円
【+】	・発電所の稼働日数及び売電単価の上昇 ・「埋立処理」における受入量の増加
【-】	・プラスチック燃料における高単価廃棄物受入量の減少
■ 営業利益	+351百万円
【+】	・発電所の点検にかかる修繕費の減少
【-】	・プラスチック燃料における高単価廃棄物受入量の減少 ・設備投資等にかかる償却費負担の増加

■ 商品別売上高・営業利益

（単位：百万円）

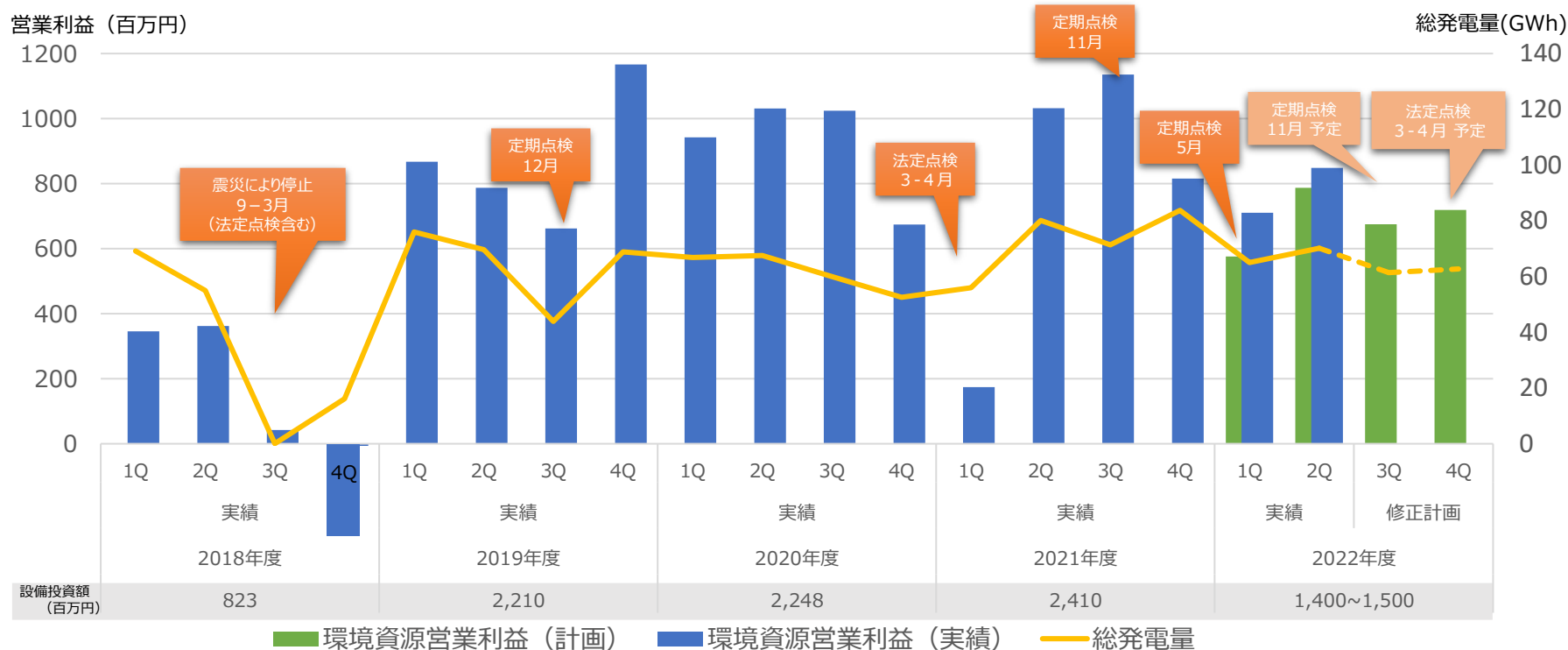
	2023/3期	前年同期		計画	
	2Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	8,218	+ 23	100.3%	+ 19	100.2%
プラスチック燃料	4,875	△ 230	95.5%	△ 134	97.3%
発電所売上	1,574	+ 164	111.7%	+ 0	100.1%
廃液処理	1,037	+ 27	102.7%	△ 2	99.8%
埋立処理	488	+ 62	114.7%	+ 102	126.7%
その他	241	+ 0	100.2%	+ 52	127.4%
売上総利益	2,482	+ 389	118.6%	+ 178	107.7%
営業利益	1,558	+ 351	129.1%	+ 195	114.3%

■ 営業利益について

- 2023年3月期第2四半期は、比較的単価の高い廃棄物の受入減少や設備投資等による償却費負担が増加しているものの、発電所にかかる修繕費等の減少により、営業利益は前年同期比29.1%増加している。

■ 苫小牧発電所の点検予定時期

- 2022年度 法定点検：2023年3月中旬から4月 予定
※法定点検 2年に1度実施（タービン：4年ごと、ボイラー：2年ごと）

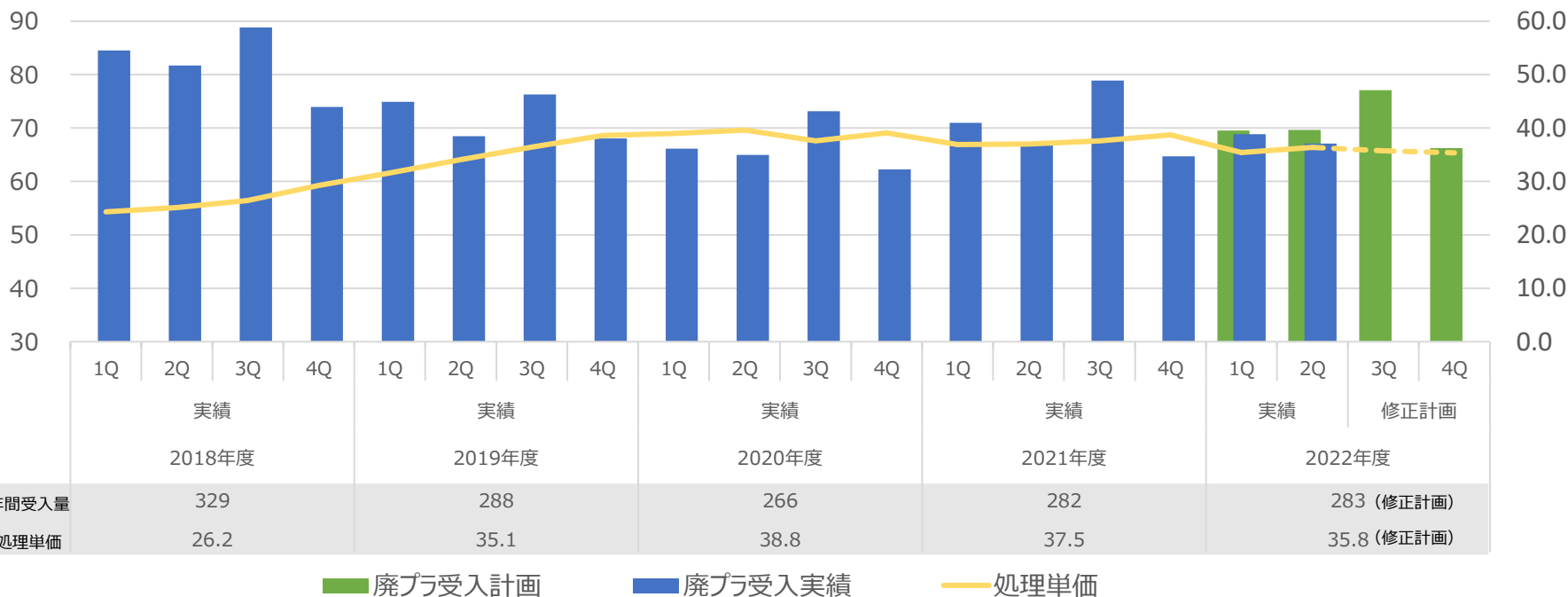


■ 廃プラスチックの受入について

- 2023年3月期第2四半期における処理単価は、当社の一部工場において比較的単価の高い廃棄物の受入が減少したことからわずかに低下している。
- 一方、受入量については、上記廃棄物の受入量が減少したものの、営業活動の強化等によりカバーしている。
- 引き続き、営業活動の強化及び廃棄物業務一元管理システム（サニックスシステム）の導入による顧客への廃棄物管理支援を実施し、取引先との関係強化及び受入量拡大を図っていく。（P.38参照）

受入量(1,000t)

処理単価 (千円/t)



※処理単価 = プラスチック燃料売上高 ÷ 廃プラ受入量

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	前期	
	期末	9月末	差異	前期末比
流動資産	14,551	14,301	△ 250	98.3%
固定資産	20,401	19,907	△ 494	97.6%
資産合計	34,953	34,208	△ 745	97.9%
流動負債	21,718	16,755	△ 4,962	77.1%
固定負債	8,503	12,238	+ 3,735	143.9%
負債合計	30,221	28,994	△ 1,227	95.9%
純資産合計	4,732	5,214	+ 482	110.2%
負債純資産合計	34,953	34,208	△ 745	97.9%

<資産>

主な要因は、現金及び預金が1,615百万円増加し、受取手形及び売掛金が2,310百万円減少

<負債>

主な要因は、短期借入金を長期借入金に借り換えたことにより、長期借入金が3,856百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,002百万円増加し、短期借入金が5,640百万円減少

流動比率については、前期末67.0%に対して、2023年3月期第2四半期においては、85.4%と18.4ポイント改善

自己資本比率については、前期末13.5%に対して、2023年3月期第2四半期においては15.2%と1.7ポイント改善

■ 設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期
	2Q実績	2Q実績
設備投資	1,324	773
減価償却費	630	880

■ セグメント別 設備投資実績

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期
	2Q実績	2Q実績
H S 部門	19	31
E S 部門	3	0
S E 部門	—	1
P V 部門	18	57
新電力部門	6	1
環境資源開発部門	1,154	633
その他	8	—
本社	114	47
合計	1,324	773

主な設備投資

- ・廃プラ加工設備に係る投資 : 404百万円
- ・廃液処理設備に係る投資 : 221百万円

■事業部門別人員（連結）

人員数（連結）	2022/3期 期末	2023/3期 9月末	前期末 増減
H S 部門	794	853	+ 59
E S 部門	146	163	+ 17
S E 部門	—	111	+ 111
P V 部門	334	250	△ 84
新電力部門	28	19	△ 9
環境資源開発部門	432	441	+ 9
その他	42	—	△ 42
本社	278	262	△ 16
合計	2,054	2,099	+ 45

■拠点数（子会社含む）

拠点数	2022/3期 期末	2023/3期 9月末	前期末 増減
H S 部門	53	61	+ 8
E S 部門	12	12	—
S E 部門	—	15	+ 15
P V 部門	37	35	△ 2
新電力部門	1	1	—
環境資源開発部門	18	18	—
その他	4	—	△ 4

※上記拠点数には、同一拠点を含まず

※環境資源開発部門は、発電所 1 拠点、最終処分場 1 拠点含む

■ 2023年 3 月期 計画(HS/ES)
・10~12店舗 出店予定

※2023年 3 月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

2022年 3 月期については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

2023年3月期 通期業績見通し

2023年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、
第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、修正しております。

- 売上高 46,568百万円（対前期▲4,368百万円 対期初計画▲4,751百万円）
- 営業利益 1,528百万円（対前期+4,146百万円 対期初計画 ▲584百万円）

2023年3月期 通期連結業績見通し修正のポイント

	主な修正点
住環境領域	<ul style="list-style-type: none">・ 上期における計画との差異が生じた状況を鑑み、売上高は前回予想を下回る見込みであるものの、コスト削減等の取り組みにより利益水準は維持
エネルギー領域	<ul style="list-style-type: none">・ PV部門において、系統連系にかかる回答期間の長期化及び世界的なサプライチェーンの混乱による電気部品の長納期化により売上計上時期が後ろ倒しになることから修正・ 新電力部門において、エネルギー価格高騰にともなう販売単価の上昇により利益改善が見込まれることから修正
資源循環領域	<ul style="list-style-type: none">・ 発電所の安定稼働に向けた点検における修繕コストの増加が見込まれることから修正

2023年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、
第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、修正しております。

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期								
	通期	上期			下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異
売上高	50,936	24,279	22,649	△ 1,630	27,039	23,918	△ 3,120	51,319	46,568	△ 4,751
売上原価	38,842	15,875	14,581	△ 1,294	18,159	15,951	△ 2,207	34,034	30,533	△ 3,501
売上総利益 (売上高売上総利益率)	12,093 23.7%	8,404 34.6%	8,068 35.6%	△ 336	8,880 32.8%	7,966 33.3%	△ 913	17,284 33.7%	16,035 34.4%	△ 1,249
販売費・一般管理費	14,711	7,625	7,322	△ 303	7,546	7,185	△ 361	15,171	14,507	△ 664
営業利益 (売上高営業利益率)	△ 2,618 -	779 3.2%	746 3.3%	△ 33	1,333 4.9%	781 3.3%	△ 551	2,113 4.1%	1,528 3.3%	△ 584
経常利益 (売上高経常利益率)	△ 2,900 -	666 2.7%	611 2.7%	△ 55	1,174 4.3%	660 2.8%	△ 514	1,841 3.6%	1,271 2.7%	△ 569
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	△ 3,449 -	562 2.3%	442 2.0%	△ 119	879 3.3%	623 2.6%	△ 256	1,441 2.8%	1,065 2.3%	△ 376

2023年3月期 セグメント別 通期連結業績見通し

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期								
	通期	上期				下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異	
売上高	50,936	24,279	22,649	△ 1,630	27,039	23,918	△ 3,120	51,319	46,568	△ 4,751	
H S 部門	12,421	6,764	6,126	△ 638	6,290	5,889	△ 401	13,055	12,015	△ 1,039	
E S 部門	2,487	1,350	1,190	△ 159	1,400	1,260	△ 139	2,750	2,450	△ 299	
S E 部門	—	1,301	791	△ 509	1,482	1,042	△ 440	2,784	1,834	△ 949	
P V 部門	8,780	3,843	3,408	△ 435	7,114	4,634	△ 2,480	10,958	8,042	△ 2,915	
新電力部門	9,836	2,821	2,914	+ 93	2,446	2,921	+ 475	5,267	5,836	+ 568	
環境資源開発部門	17,008	8,199	8,218	+ 19	8,305	8,170	△ 134	16,504	16,389	△ 115	
その他/セグメント間の 内部売上高調整額	403	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
営業利益	△ 2,618	779	746	△ 33	1,333	781	△ 551	2,113	1,528	△ 584	
H S 部門	2,382	1,263	883	△ 379	760	728	△ 32	2,024	1,612	△ 411	
E S 部門	227	109	8	△ 101	121	78	△ 43	231	86	△ 144	
S E 部門	—	△ 39	△ 100	△ 60	42	△ 0	△ 42	3	△ 100	△ 103	
P V 部門	△ 473	△ 153	△ 159	△ 5	274	34	△ 240	121	△ 124	△ 245	
新電力部門	△ 4,173	△ 99	133	+ 233	△ 80	9	+ 89	△ 180	143	+ 323	
環境資源開発部門	3,158	1,363	1,558	+ 195	1,683	1,395	△ 288	3,046	2,953	△ 92	
その他	△ 262	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
配賦不能	△ 3,477	△ 1,663	△ 1,579	+ 84	△ 1,469	△ 1,464	+ 5	△ 3,133	△ 3,043	+ 90	

2023年3月期 セグメント別見通し【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期								
	通期	上期			下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異
売上高	12,421	6,764	6,126	△ 638	6,290	5,889	△ 401	13,055	12,015	△ 1,039
白蟻防除施工	3,641	2,044	2,099	+ 55	1,715	1,733	+ 18	3,760	3,833	+ 73
床下換気・天井裏換気システム	3,141	1,715	1,514	△ 201	1,574	1,478	△ 95	3,290	2,993	△ 297
基礎補修・家屋補強工事	2,054	1,075	858	△ 216	1,055	1,018	△ 36	2,130	1,876	△ 253
その他	3,584	1,928	1,653	△ 275	1,945	1,658	△ 286	3,874	3,311	△ 562
売上原価	4,754	2,579	2,372	△ 207	2,654	2,380	△ 274	5,234	4,753	△ 481
うち、労務費	1,662	915	871	△ 44	1,030	994	△ 36	1,946	1,865	△ 80
売上総利益	7,667	4,184	3,753	△ 430	3,636	3,508	△ 127	7,820	7,262	△ 558
販売費・一般管理費	5,284	2,921	2,869	△ 51	2,875	2,780	△ 94	5,796	5,650	△ 146
うち、人件費	3,292	1,857	1,776	△ 80	1,881	1,781	△ 99	3,738	3,558	△ 180
営業利益	2,382	1,263	883	△ 379	760	728	△ 32	2,024	1,612	△ 411

下期計画については、上期において計画との差異が生じた状況を鑑み、新規営業活動に注力し、顧客基盤の充実を図る方針といたしました。これにともない、新規顧客向けの「白蟻防除施工」が増加する見込みである一方で、既存顧客向けの営業生産性が一時的に減少する見込みであります。

2023年3月期 セグメント別見通し【ES事業部門】

次世代へ快適な環境を

SANIX

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期								
	通期	上期			下期			通期			
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異	
売上高	2,487	1,350	1,190	△ 159	1,400	1,260	△ 139	2,750	2,450	△ 299	
防錆機器取付施工	1,221	694	456	△ 238	718	573	△ 145	1,413	1,030	△ 383	
その他	1,266	655	733	+ 78	681	686	+ 5	1,336	1,419	+ 83	
売上原価	1,159	626	596	△ 29	655	573	△ 81	1,281	1,170	△ 111	
うち、労務費	271	155	140	△ 14	157	141	△ 16	312	281	△ 31	
売上総利益	1,328	723	593	△ 130	744	686	△ 57	1,468	1,280	△ 188	
販売費・一般管理費	1,101	613	584	△ 29	622	608	△ 14	1,236	1,193	△ 43	
うち、人件費	639	355	347	△ 7	358	355	△ 2	713	702	△ 10	
営業利益	227	109	8	△ 101	121	78	△ 43	231	86	△ 144	

下期計画については、業務提携先やオーナー様等、顧客接点の拡大に向けた取り組みを積極的に推進する方針である一方で、世界的なサプライチェーンの混乱により給水ポンプ等の資機材の供給状況が不安定なことから、前回予想を下回る見込みであります。

2023年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期								
	通期	上期			下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異
売上高	—	1,301	791	△ 509	1,482	1,042	△ 440	2,784	1,834	△ 949
売上原価	—	899	534	△ 365	990	730	△ 259	1,889	1,264	△ 625
うち、材料費等	—	503	284	△ 218	575	510	△ 64	1,078	795	△ 282
うち、労務費	—	187	134	△ 53	188	128	△ 59	375	263	△ 112
売上総利益	—	401	257	△ 144	492	311	△ 180	894	569	△ 324
販売費・一般管理費	—	441	357	△ 83	449	312	△ 137	891	669	△ 221
うち、人件費	—	226	196	△ 30	235	174	△ 60	462	371	△ 90
営業利益	—	△ 39	△ 100	△ 60	42	△ 0	△ 42	3	△ 100	△ 103

2022年6月の組織改編により、戸建住宅に特化した太陽光発電システム販売に注力する事業部門として新しく立ち上げております。下期計画については、2022年度の電力接続契約の申請期限を鑑み、太陽光発電システムに加え蓄電池を主体とした営業活動を推進いたしますが、上期において計画との差異が生じた状況を鑑み、前回予想を下回る見込みであります。

2023年3月期 セグメント別見通し【PV事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期								
	通期	上期				下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異	
売上高	8,780	3,843	3,408	△ 435	7,114	4,634	△ 2,480	10,958	8,042	△ 2,915	
施工売上	8,447	3,721	3,286	△ 434	7,005	4,540	△ 2,464	10,726	7,827	△ 2,899	
卸販売	261	81	74	△ 7	78	53	△ 24	159	127	△ 31	
その他	71	40	47	+ 7	31	40	+ 8	71	87	+ 15	
売上原価	6,838	3,078	2,662	△ 416	5,779	3,632	△ 2,147	8,858	6,294	△ 2,563	
うち、材料費等	4,157	1,991	1,536	△ 454	4,039	2,286	△ 1,752	6,031	3,823	△ 2,207	
うち、労務費	870	321	370	+ 49	316	366	+ 49	637	736	+ 98	
売上総利益	1,941	765	745	△ 19	1,334	1,002	△ 332	2,099	1,748	△ 351	
販売費・一般管理費	2,415	918	905	△ 13	1,060	967	△ 92	1,978	1,872	△ 106	
うち、人件費	1,158	444	450	+ 5	508	478	△ 29	953	928	△ 24	
営業利益	△ 473	△ 153	△ 159	△ 5	274	34	△ 240	121	△ 124	△ 245	

再エネ導入による脱炭素化への社会的な機運の高まりに加え、電力価格の高騰もあり、太陽光発電の設置を希望する企業が増加しております。しかしながら、各電力会社からの太陽光発電システムの系統連系にかかる回答期間の長期化に加え、世界的なサプライチェーンの混乱による電気部品の長納期化により売上計上時期が後ろ倒しになっております。下期計画については、上記要因踏まえ、前回予想を下回る見込みであります。

脱炭素への取り組みの本格化と電力コストの高騰をドライバーに太陽光発電の需要は大きく拡大する。



■ 進捗と見通し

2023年3月期第2四半期は、当社予想を超える引き合いや受注がある。（P.37参照）



- 各電力会社からの太陽光発電システムの系統連系にかかる回答期間の長期化
- 世界的なサプライチェーンの混乱による電気部品の長納期化

2023年3月期は、当社予想を超える引き合いや受注がある。一方で、各電力会社からの太陽光発電システムの系統連系にかかる回答期間の長期化等から、今期売上計上を予定していた案件が来期計上となる見通しである。

2023年3月期 セグメント別見通し【新電力事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期								
	通期	上期			下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異
売上高	9,836	2,821	2,914	+ 93	2,446	2,921	+ 475	5,267	5,836	+ 568
売上原価	13,708	2,795	2,679	△ 116	2,402	2,817	+ 414	5,198	5,496	+ 298
うち、材料費	13,708	2,795	2,679	△ 116	2,402	2,816	+ 414	5,198	5,496	+ 297
売上総利益	△ 3,872	25	235	+ 209	43	104	+ 61	69	339	+ 270
販売費・一般管理費	301	125	101	△ 23	123	95	△ 28	249	196	△ 52
うち、人件費	152	68	55	△ 12	68	52	△ 15	136	107	△ 28
営業利益	△ 4,173	△ 99	133	+ 233	△ 80	9	+ 89	△ 180	143	+ 323

下期計画については、エネルギー価格高騰にともなう販売単価の上昇により利益改善が見込まれることに加え、固定費削減を図っていることから、前回予想を上回る見込みであります。

2023年3月期 セグメント別見通し【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期								
	通期	上期				下期			通期		
	実績	期初計画	実績	差異	期初計画	修正計画	差異	期初計画	修正計画	差異	
売上高	17,008	8,199	8,218	+ 19	8,305	8,170	△ 134	16,504	16,389	△ 115	
プラスチック燃料	10,574	5,010	4,875	△ 134	5,103	5,103	+ 0	10,113	9,979	△ 134	
発電所売上	2,986	1,573	1,574	+ 0	1,592	1,466	△ 126	3,166	3,040	△ 125	
廃液処理	2,073	1,040	1,037	△ 2	1,048	1,048	+ 0	2,088	2,086	△ 2	
埋立処理	911	385	488	+ 102	353	353	+ 0	739	841	+ 102	
その他	461	189	241	+ 52	207	199	△ 7	397	441	+ 44	
売上原価	12,050	5,895	5,736	△ 159	5,676	5,817	+ 141	11,572	11,554	△ 18	
うち、労務費	1,913	969	931	△ 37	1,004	1,026	+ 22	1,973	1,958	△ 15	
売上総利益	4,957	2,303	2,482	+ 178	2,628	2,353	△ 275	4,932	4,835	△ 97	
販売費・一般管理費	1,799	940	923	△ 16	945	957	+ 12	1,885	1,881	△ 4	
うち、人件費	1,124	585	554	△ 30	593	603	+ 10	1,178	1,158	△ 19	
営業利益	3,158	1,363	1,558	+ 195	1,683	1,395	△ 288	3,046	2,953	△ 92	

下期計画については、発電所の安定稼働に向けた点検における修繕コストの増加及び発電所の稼働日数・発電量の減少が見込まれることから、前回予想を下回る見込みであります。

		2019/3期 実績	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 修正計画
自己資本当期純利益率	ROE	5.85%	36.31%	27.87%	—	17.90%
総資産経常利益率	ROA	3.88%	8.16%	6.39%	—	3.70%
自己資本比率		13.42%	18.55%	24.50%	13.47%	17.20%
投下資本利益率	ROIC	2.31%	10.77%	11.19%	—	6.90%

(単位：百万円)

	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 計画
設備投資	2,742	3,083	2,776	1,800~2,000
減価償却費	914	1,097	1,509	1,800

トピックス

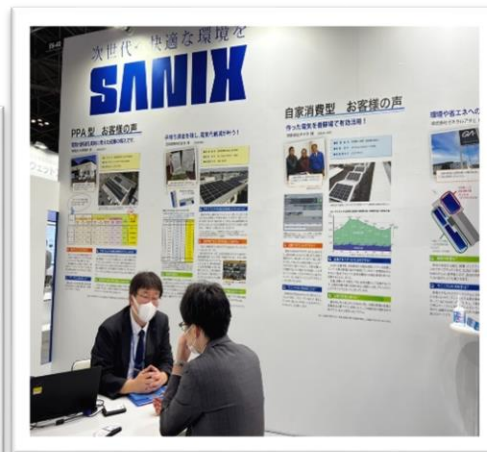
■ 西日本最大“脱炭素経営EXPO”へ出展(11/16～11/18)

脱炭素経営EXPOは、ゼロカーボンコンサル、GHG排出量の見える化、コーポレートPPA、省エネソリューションなどあらゆる脱炭素ソリューションが出展し、脱炭素経営を目指す企業の経営者、経営企画、ESG・サステナブル部門などが来場する専門展として開催されている。

～サニックス～

脱炭素時代を迎え、企業や自治体向けの脱炭素経営に関して、その方法や情報が多く溢れつつある中、当社は、脱炭素経営のソリューションとして太陽光発電システムの提案を行う。

2022年3月開催 東京“脱炭素EXPO”
～出展の様子～



【11/16 (水) より3日間】西日本最大
カーボンニュートラルの展示会、大阪で開催！

第2回 関西 脱炭素経営 EXPO

会期：2022年11月16日(水)～18日(金)10時～17時 会場：インテックス大阪

●同時開催展

- 関西 スマートエネルギーWeek
- 関西 PV EXPO 2022
- 関西 二次電池展
- 関西 バイオマス展
- 関西 スマートグリッド EXPO

脱炭素EXOプレスリリースより
https://lp.rxjapan.jp/content/dam/sitebuilder/rxjp/rx-japan/doc/22/sew_k22_release2.pdf

■ 日本最大級“異業種交流展示会”へ出展(11/16~11/18)

メッセナゴヤ“異業種交流展示会”は、愛知万博の理念(環境、科学技術、国際交流)を継承する事業として2006年にスタートした「異業種交流の祭典」。業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る日本最大級のビジネス展示会として開催されている。

～サニックス～

近年重要性が増す産業廃棄物の適正管理と共に、見える化による、コスト適正化と環境貢献（脱炭素・環境循環・SDGs）の実現に向けて、「SANIX system」を通して廃棄物の回収依頼・処理状況の管理から、データ利用、コンプライアンスまで最適で効率的な業務遂行、課題解決のサポート・提案を行う。

SANIX system「排出企業と処理業者をつなぐDXプラットフォーム」

The image shows promotional materials for the SANIX system. On the left is a brochure titled 'SDGsってどう取り組みばいいか具体的にわからない' (I don't know how to take on SDGs specifically). It features the text 'Carbon Neutral', '低炭素社会' (Low-carbon society), '脱炭素' (Decarbonization), and 'SDGs SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS'. It also mentions 'SANIXは信頼のプライム市場上場企業です。全国の企業様(年間12,000カ所を超える事業場)の産業廃棄物処理を担うプロ企業です。' (SANIX is a trusted prime market listed company. We are a professional company that handles industrial waste treatment for nationwide companies (over 12,000 sites nationwide)).

On the right is a system overview chart titled '見える化で「難しい」を「簡単」に' (Making 'difficult' things 'easy' with visible data). It lists features: '可視化' (Visualization) - 'すべての状況と数値を見える化' (Visualize all situations and numbers); '省カ化' (Cost reduction) - '廃棄物の種類を問わず 多様な廃棄物業務を一元化' (Integrate various waste management tasks regardless of type); '安全・安心' (Safety and peace of mind) - '商標法に準拠しているから、もちろんコンプライアンスも強化' (Compliant with trademark law, so compliance is also strengthened).

The poster features the 'Fusion!' logo and the text '新たな商機' (New business opportunities). It announces the '17th 日本最大級 異業種交流展示会' (17th Japan's Largest Inter-industry Exchange Show) 'メッセナゴヤ2022'. It provides event details: 'リアル開催' (In-person event) from 11/16 to 18, 10:00-17:00; 'オンライン開催' (Online event) on 11/17 to 30. It also lists sponsors: '主催: メッセナゴヤ実行委員会(構成: 愛知県, 名古屋市, 名古屋商工会議所)' (Organized by Messe Nagoya Executive Committee), '協賛: 中部経済産業局, 一般財団法人地球産業文化研究所' (Sponsored by Chubu Economic Industrial Bureau, etc.), and '協力: 中部経済新聞社, 中日新聞社' (Assisted by Chubu Economic News, etc.).

メッセナゴヤプレスリリースより
https://www.messenagoya.jp/pdf/press_release2022.pdf

補足資料
(2023年3月期
第2四半期 セグメント別実績)

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	2Q実績	差異	前年同期比	計画	差異	計画比
売 上 高	23,145	22,649	△ 495	97.9%	24,279	△ 1,630	93.3%
H S 部 門	6,487	6,126	△ 361	94.4%	6,764	△ 638	90.6%
E S 部 門	1,264	1,190	△ 74	94.1%	1,350	△ 159	88.2%
S E 部 門	—	791	+ 791	—	1,301	△ 509	60.8%
P V 部 門	3,828	3,408	△ 420	89.0%	3,843	△ 435	88.7%
新 電 力 部 門	3,131	2,914	△ 217	93.1%	2,821	+ 93	103.3%
環 境 資 源 開 発 部 門	8,194	8,218	+ 23	100.3%	8,199	+ 19	100.2%
そ の 他 / セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 調 整 額	237	—	△ 237	—	—	—	—
営 業 利 益	589	746	+ 156	126.6%	779	△ 33	95.8%
H S 部 門	1,394	883	△ 510	63.4%	1,263	△ 379	70.0%
E S 部 門	121	8	△ 112	7.3%	109	△ 101	8.0%
S E 部 門	—	△ 100	△ 100	—	△ 39	△ 60	—
P V 部 門	△ 294	△ 159	+ 134	—	△ 153	△ 5	—
新 電 力 部 門	25	133	+ 107	517.3%	△ 99	+ 233	—
環 境 資 源 開 発 部 門	1,207	1,558	+ 351	129.1%	1,363	+ 195	114.3%
そ の 他	△ 150	—	+ 150	—	—	—	—
配 賦 不 能	△ 1,714	△ 1,579	+ 135	—	△ 1,663	+ 84	—

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	7,752		8,108		104.6%	9,415	
H S 部門	6,487	83.7%	6,126	75.6%	94.4%	6,764	71.8%
E S 部門	1,264	16.3%	1,190	14.7%	94.1%	1,350	14.3%
S E 部門	—	—	791	9.8%	—	1,301	13.8%
売上原価	2,931	37.8%	3,503	43.2%	119.5%	4,105	43.6%
うち、労務費	968	12.5%	1,146	14.1%	118.4%	1,258	13.4%
売上総利益	4,820	62.2%	4,604	56.8%	95.5%	5,310	56.4%
販売費・一般管理費	3,305	42.6%	3,812	47.0%	115.3%	3,976	42.2%
うち、人件費	2,011	25.9%	2,320	28.6%	115.3%	2,438	25.9%
営業利益	1,515	19.5%	792	9.8%	52.3%	1,333	14.2%

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	6,487		6,126		94.4%	6,764	
白蟻防除施工	1,992	30.7%	2,099	34.3%	105.4%	2,044	30.2%
床下・天井裏換気システム	1,668	25.7%	1,514	24.7%	90.8%	1,715	25.4%
基礎補修・家屋補強工事	1,045	16.1%	858	14.0%	82.1%	1,075	15.9%
その他	1,781	27.5%	1,653	27.0%	92.8%	1,928	28.5%
売上原価	2,349	36.2%	2,372	38.7%	101.0%	2,579	38.1%
うち、労務費	829	12.8%	871	14.2%	105.1%	915	13.5%
売上総利益	4,138	63.8%	3,753	61.3%	90.7%	4,184	61.9%
販売費・一般管理費	2,744	42.3%	2,869	46.8%	104.6%	2,921	43.2%
うち、人件費	1,682	25.9%	1,776	29.0%	105.6%	1,857	27.5%
営業利益	1,394	21.5%	883	14.4%	63.4%	1,263	18.7%

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	1,264		1,190		94.1%	1,350	
防錆機器取付施工	648	51.2%	456	38.4%	70.5%	694	51.5%
その他	616	48.8%	733	61.6%	119.0%	655	48.5%
売上原価	582	46.1%	596	50.1%	102.4%	626	46.4%
うち、労務費	138	11.0%	140	11.8%	101.3%	155	11.5%
売上総利益	682	53.9%	593	49.9%	87.0%	723	53.6%
販売費・一般管理費	560	44.4%	584	49.1%	104.2%	613	45.5%
うち、人件費	328	26.0%	347	29.2%	105.8%	355	26.3%
営業利益	121	9.6%	8	0.7%	7.3%	109	8.1%

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	—		791		—	1,301	
売上原価	—	—	534	67.5%	—	899	69.1%
うち、材料費等	—	—	284	36.0%	—	503	38.7%
うち、労務費	—	—	134	17.0%	—	187	14.4%
売上総利益	—	—	257	32.5%	—	401	30.9%
販売費・一般管理費	—	—	357	45.2%	—	441	33.9%
うち、人件費	—	—	196	24.8%	—	226	17.4%
営業利益	—	—	△ 100	—	—	△ 39	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

S E部門については、実務上、前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	6,960		6,322		90.8%	6,664	
P V 部門	3,828	55.0%	3,408	53.9%	89.0%	3,843	57.7%
新電力部門	3,131	45.0%	2,914	46.1%	93.1%	2,821	42.3%
売上原価	5,761	82.8%	5,341	84.5%	92.7%	5,873	88.1%
うち、労務費	387	5.6%	370	5.9%	95.5%	321	4.8%
売上総利益	1,198	17.2%	981	15.5%	81.9%	790	11.9%
販売費・一般管理費	1,466	21.1%	1,006	15.9%	68.6%	1,044	15.7%
うち、人件費	733	10.5%	505	8.0%	68.9%	512	7.7%
営業利益	△ 268	—	△ 25	—	—	△ 253	—

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【PV事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	3,828		3,408		89.0%	3,843	
施工売上	3,753	98.0%	3,286	96.4%	87.6%	3,721	96.8%
卸販売	34	0.9%	74	2.2%	213.3%	81	2.1%
その他	40	1.1%	47	1.4%	117.2%	40	1.0%
売上原価	2,816	73.6%	2,662	78.1%	94.5%	3,078	80.1%
うち、材料費等	1,580	41.3%	1,536	45.1%	97.2%	1,991	51.8%
うち、労務費	387	10.1%	370	10.9%	95.5%	321	8.4%
売上総利益	1,011	26.4%	745	21.9%	73.7%	765	19.9%
販売費・一般管理費	1,305	34.1%	905	26.6%	69.3%	918	23.9%
うち、人件費	652	17.0%	450	13.2%	69.0%	444	11.6%
営業利益	△ 294	—	△ 159	—	—	△ 153	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。
PV部門については、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【新電力事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	3,131		2,914		93.1%	2,821	
売上原価	2,944	94.0%	2,679	91.9%	91.0%	2,795	99.1%
うち、材料費	2,944	94.0%	2,679	91.9%	91.0%	2,795	99.1%
売上総利益	186	6.0%	235	8.1%	126.0%	25	0.9%
販売費・一般管理費	160	5.1%	101	3.5%	63.2%	125	4.5%
うち、人件費	81	2.6%	55	1.9%	68.3%	68	2.4%
営業利益	25	0.8%	133	4.6%	517.3%	△ 99	—

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	8,194		8,218		100.3%	8,199	
売上原価	6,102	74.5%	5,736	69.8%	94.0%	5,895	71.9%
うち、労務費	942	11.5%	931	11.3%	98.9%	969	11.8%
売上総利益	2,092	25.5%	2,482	30.2%	118.6%	2,303	28.1%
販売費・一般管理費	885	10.8%	923	11.2%	104.3%	940	11.5%
うち、人件費	556	6.8%	554	6.8%	99.8%	585	7.1%
営業利益	1,207	14.7%	1,558	19.0%	129.1%	1,363	16.6%

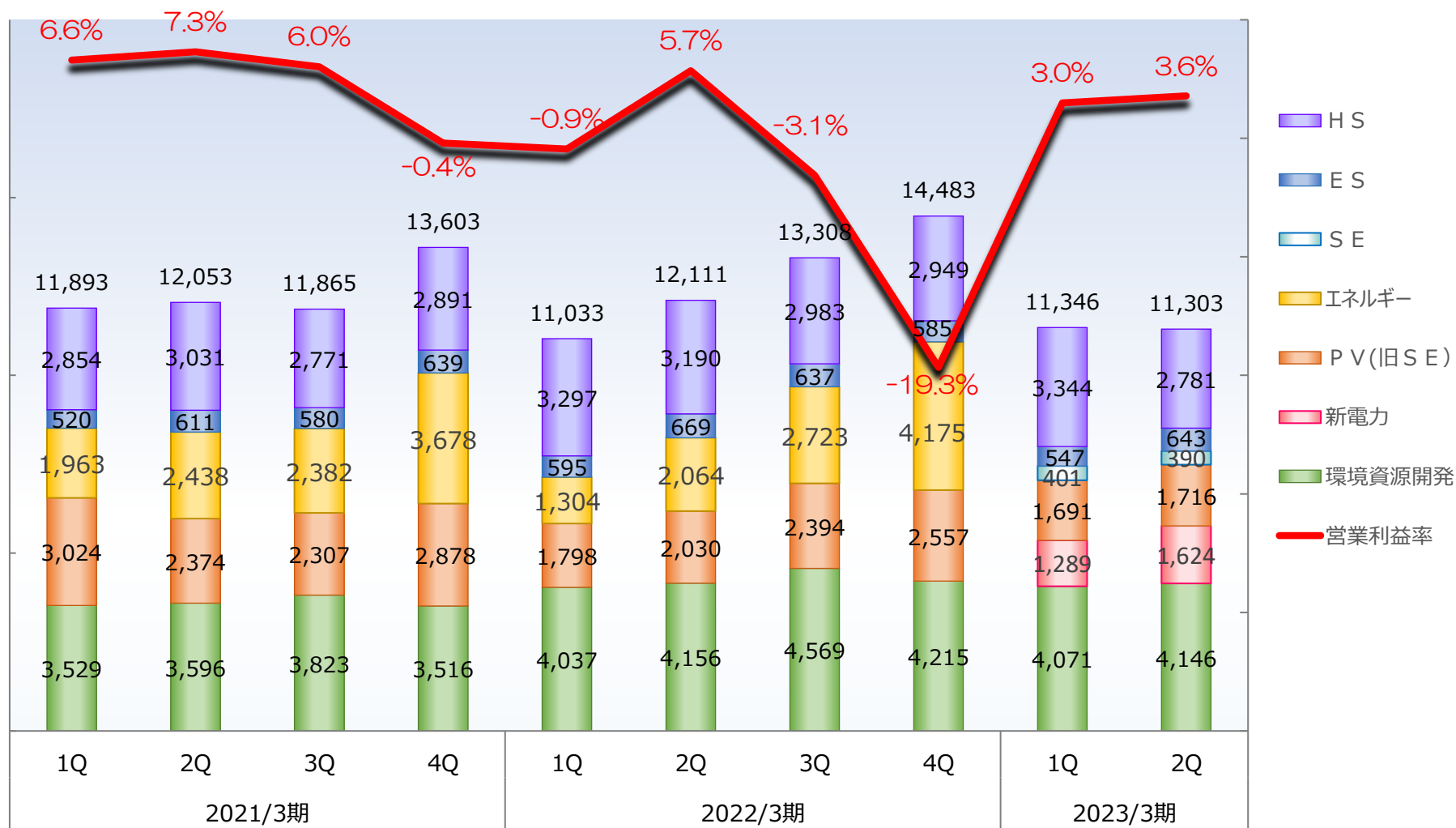
2023年3月期 第2四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	2Q実績	売上比	2Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売 上 高	8,194		8,218		100.3%	8,199	
プラスチック燃料	5,106	62.3%	4,875	59.3%	95.5%	5,010	61.1%
発電所売上	1,409	17.2%	1,574	19.2%	111.7%	1,573	19.2%
廃液処理	1,010	12.3%	1,037	12.6%	102.7%	1,040	12.7%
埋立処理	425	5.2%	488	5.9%	114.7%	385	4.7%
その他	241	2.9%	241	2.9%	100.2%	189	2.3%
売 上 原 価	6,102	74.5%	5,736	69.8%	94.0%	5,895	71.9%
うち、労務費	942	11.5%	931	11.3%	98.9%	969	11.8%
売 上 総 利 益	2,092	25.5%	2,482	30.2%	118.6%	2,303	28.1%
販売費・一般管理費	885	10.8%	923	11.2%	104.3%	940	11.5%
うち、人件費	556	6.8%	554	6.8%	99.8%	585	7.1%
営 業 利 益	1,207	14.7%	1,558	19.0%	129.1%	1,363	16.6%

【参考】 セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)



・「セグメント間の内部売上高調整額」は環境資源開発及びエネルギーの売上高から差し引いております。

・2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

補足資料（事業構造）

企業理念 「次世代へ快適な環境を」

エネルギー領域

- PV
- 新電力

『環境負荷の低い

エネルギーが当たり前の社会』

再エネの主力電源化、分散電源、自家消費、
マイクログリッド、V P P

『快適な住環境を次世代に

つなぐのが当たり前の社会』

長期優良住宅、住宅のストック化、既存住宅
流通市場形成

住環境領域

- HS
- ES
- SE

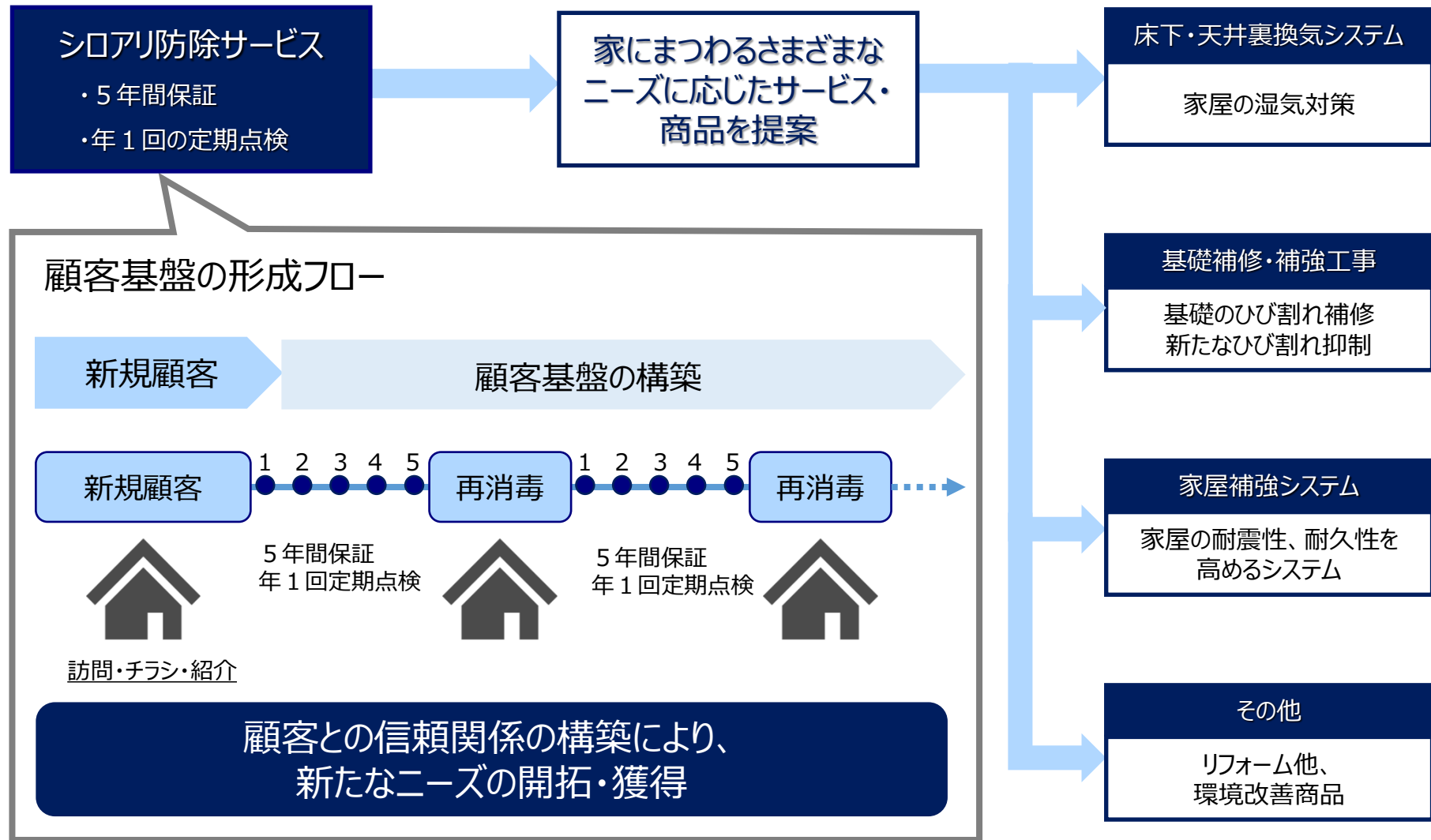
資源循環領域

- 環境資源

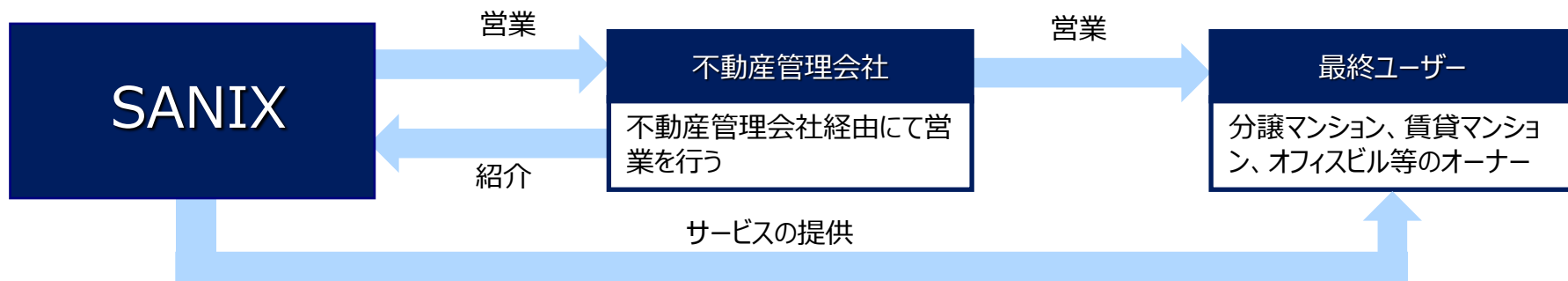
『捨てないのが当たり前の社会』

環境基本計画、循環型社会形成推進、
プラスチック資源循環戦略

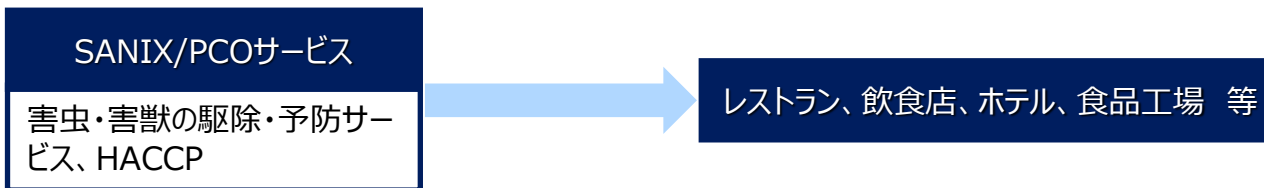
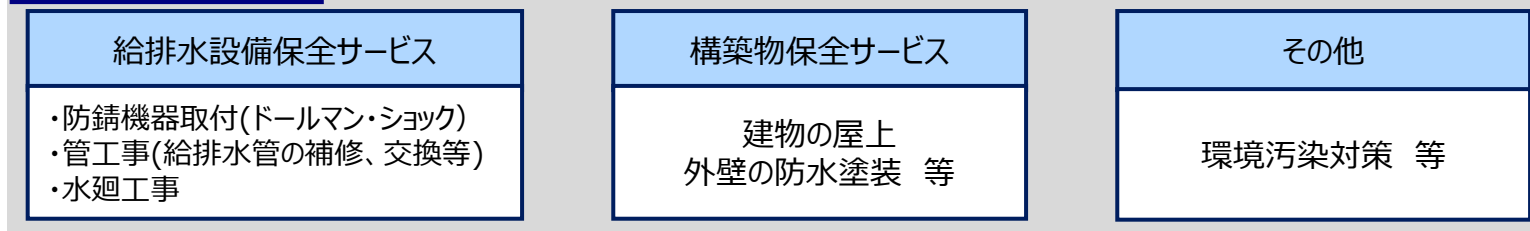
HS部門 事業構造



ES部門 事業構造

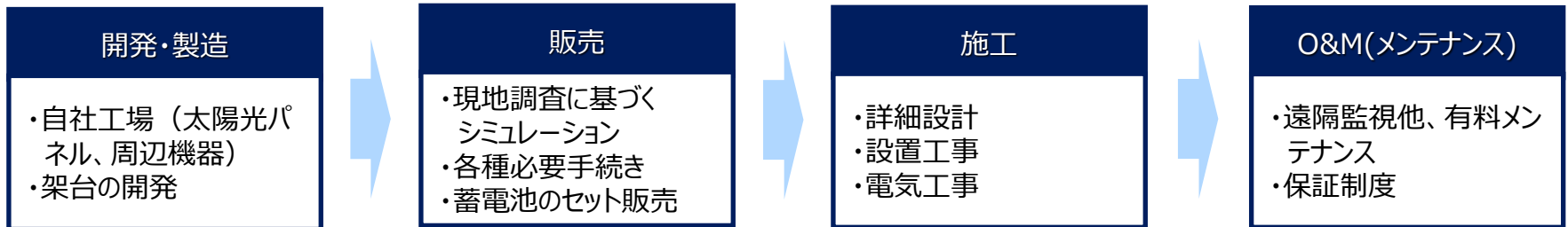


主なサービス・商品



SE/PV部門 事業構造

製造・販売・施工・メンテナンスまでトータルサービスを提供



住宅向け（10kW未満） 主にSE事業部門

- 新築住宅：ZEH普及促進
- 既築住宅：省エネ改修支援等による導入加速を背景に、住宅・小規模建築物向け太陽光発電市場は堅調な推移が見込まれる

➡ 住宅太陽光発電市場専門の組織を新たに編成し、積極的な開拓を狙う

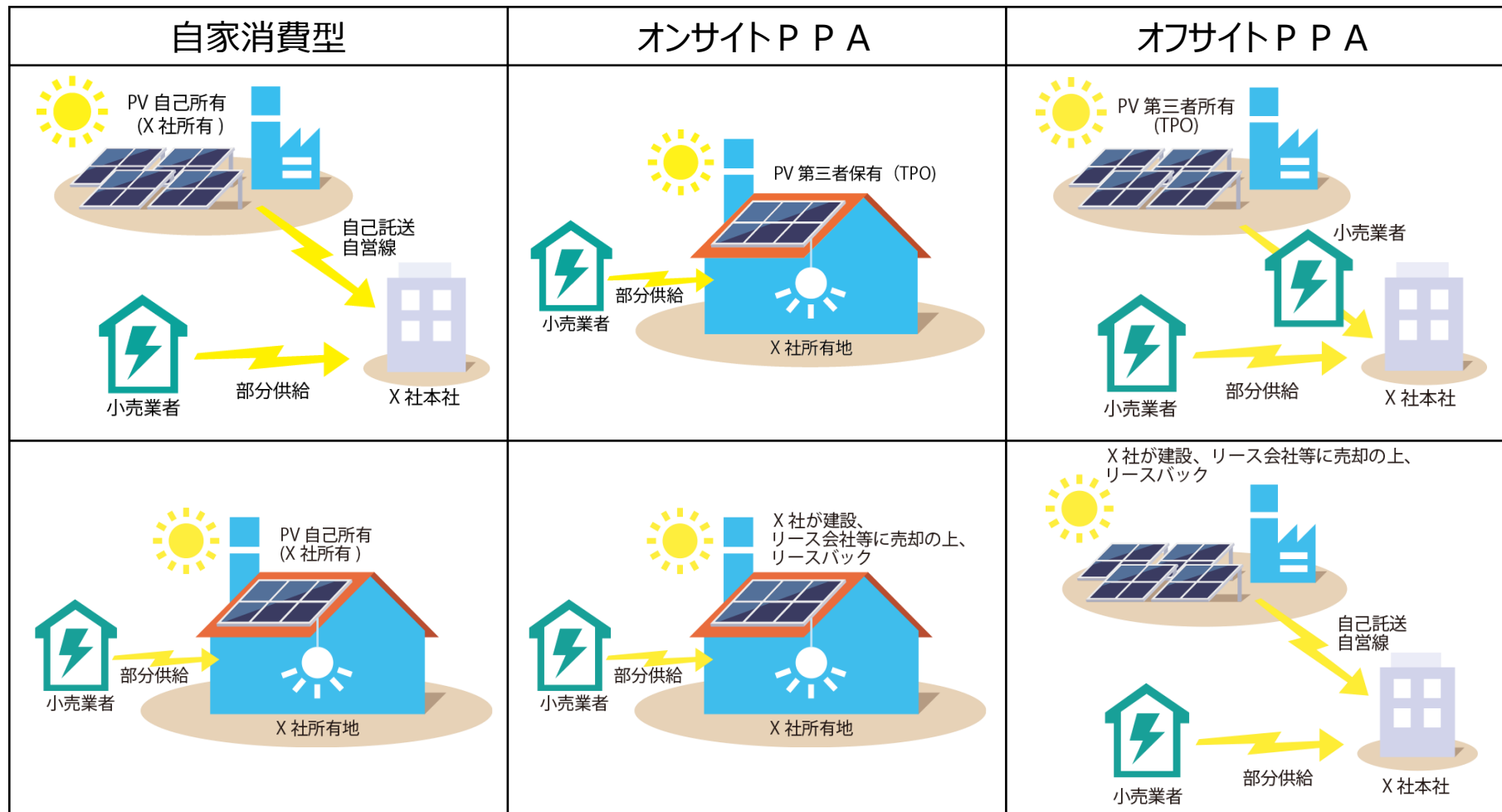
法人・自治体向け（10kW以上） 主にPV事業部門

企業や地方自治体を中心に、脱炭素への取り組みが本格化。太陽光発電設備の導入・保有方法や、発電電力の供給方法等が多様化・高度化することでFIT制度下とは異なる市場が大きく成長することが見込まれる

➡ 各種サービスを展開するための協業体制が整い、今期より営業を本格化
更なる他社協業を進め、提供サービスの拡充を図る

太陽光設備の導入・保有、および電力の供給方法の 多様化・高度化

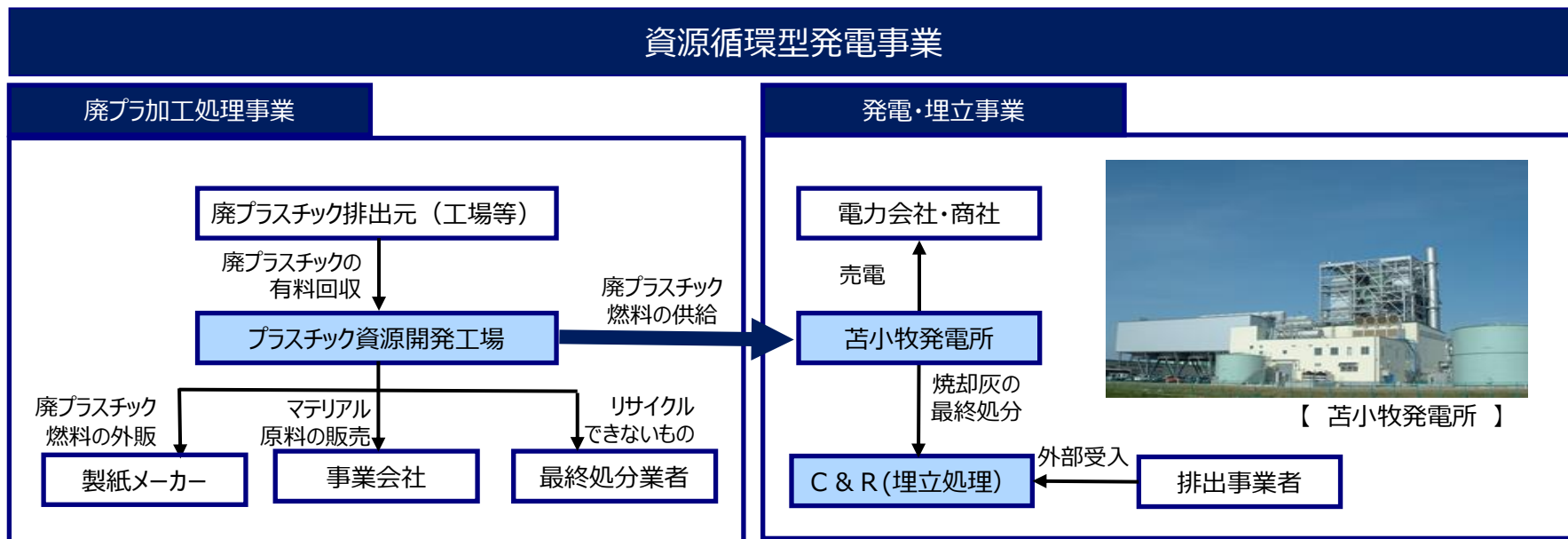
電力料金の上昇と、太陽光発電システムの低コスト化やPPAサービスの浸透等を背景に、
経済合理性・脱炭素対応・レジリエンス強化、それぞれのニーズにより太陽光導入が本格化



太陽光発電協会ホームページ「発電事業普及へ向けて」より、当社で加工

環境資源開発部門 事業構造

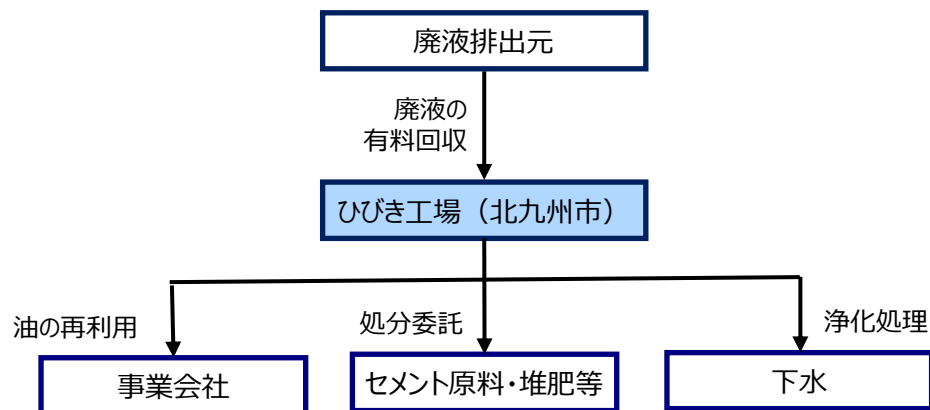
資源循環型発電事業



【 苫小牧発電所 】

- 全国15箇所のプラスチック資源開発工場では、メーカーなどの製造工場等から排出される廃プラスチックを、処理手数料とともに回収
- 回収した廃プラスチックは、廃プラスチック燃料に加工処理して、苫小牧発電所に供給
- 苫小牧発電所において、廃プラスチック燃料を利用して発電し、電力会社・商社に売電
- 発電所への供給以外にも、製紙メーカーへの廃プラスチック燃料の外販やマテリアル原料としての販売を実施
- 苫小牧発電所における焼却灰は、C&R(苫小牧市:埋立処理場)で最終処分を実施

廃液処理事業



【 ひびき工場 】

※汚泥・廃液を処理する施設としては、国内最大規模

- 食品・飲料工場から排出される廃液を処理手数料とともに回収
- 回収した廃液は、ひびき工場（北九州市）において、微生物処理等によって浄化
- 浄化処理後の処理水は、再利用水として再利用するか、放流基準に達していることを確認のうえ放流
- 処理工程で発生した脱水汚泥は、セメント原料や堆肥として再利用・燃料化